

平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 アプライド株式会社

 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	18,245	15.3	128		185		146	
22年3月期第3四半期	21,530	12.0	272		31		267	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	108.71	
22年3月期第3四半期	197.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	11,585	3,508	29.7	2,550.67
22年3月期	12,318	3,442	27.5	2,502.64

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,446百万円 22年3月期 3,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		30.00		30.00	60.00
23年3月期		30.00			
23年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,780	0.1	265		285	270.1	104		76.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	1,351,600株	22年3月期	1,351,600株
期末自己株式数	23年3月期3Q	398株	22年3月期	341株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	1,351,230株	22年3月期3Q	1,351,339株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第 3 四半期連結累計期間)	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国市場の需要拡大や景気刺激策による効果はあったものの政策支援の縮小や雇用及び所得環境の回復が弱く、景気回復のペースは鈍化しており、依然として景気の先行きは不透明な状況であります。

このような環境の中、当社グループは『デジタル専門店』としての位置を確立し、商品力・技術力を活かして、幅広い顧客層に向けてのつながりを構築し、事業の拡大に取り組んでまいりました。

店舗展開におきましては、パソコン及びモバイル市場への展開を強化すべく、商品の品揃えを拡大いたしました。また、デジタル環境に対し、顧客の用途に合わせた技術サービスの強化を推進いたしました。

法人顧客向けにおいては、大都市圏を中心として、デジタル関連商品の提案営業を強化するとともに各営業所においては、店舗と連携を深めながら地域に密着した営業展開を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間による売上高は182億45百万円、利益面におきましては、技術サービスの強化等による売上総利益率の改善により、経常利益は1億85百万円、四半期純利益は1億46百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、「アプライド」23店舗、パソコン専門店「コムロード」4店舗、ゲーム専門店「シータショップ」14店舗を運営し、パソコン及びスマートデバイスに関するデジタル機器を強化し、それに加え、専門店としての技術力を活かし、サービスサポート面の強化を図った結果、売上高は177億90百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は化粧品・雑貨専門店「ハウズ」6店舗を運営するとともに、商品開発に注力し、卸販売を強化した結果、売上高は2億51百万円となりました。

出版・広告事業は、情報誌の発刊に加え、企画本、デジタル媒体への広告営業を強化いたしました。また、総合企画による幅広い提案を行い、顧客の獲得を推進した結果、売上高は2億3百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億33百万円減少し、115億85百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少3億72百万円、受取手形及び売掛金の減少2億96百万円、敷金及び保証金の減少1億53百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ7億99百万円減少し、80億76百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少2億31百万円、長期借入金の減少3億74百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、35億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加65百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、29.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、平成22年5月14日にて公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益への影響は、軽微であり、税金等調整前四半期純利益への影響は、24百万円であります。

2. 表示方法の変更

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041	1,413
受取手形及び売掛金	1,136	1,432
商品及び製品	2,665	2,458
仕掛品	1	2
原材料及び貯蔵品	59	20
その他	355	363
貸倒引当金	9	13
流動資産合計	5,249	5,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,159	4,163
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,063	1,954
建物及び構築物(純額)	2,095	2,209
土地	2,528	2,528
その他	801	788
減価償却累計額及び減損損失累計額	614	559
その他(純額)	186	229
有形固定資産合計	4,811	4,966
無形固定資産	24	29
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,191	1,345
その他	309	300
貸倒引当金	0	-
投資その他の資産合計	1,499	1,645
固定資産合計	6,336	6,642
資産合計	11,585	12,318

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,818	2,049
短期借入金	1,300	1,400
1年内返済予定の長期借入金	498	539
未払法人税等	10	62
賞与引当金	85	165
ポイント引当金	52	50
その他	894	765
流動負債合計	4,659	5,032
固定負債		
長期借入金	2,469	2,844
長期未払金	403	403
退職給付引当金	281	234
負ののれん	103	148
その他	158	213
固定負債合計	3,416	3,843
負債合計	8,076	8,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	403	403
利益剰余金	2,671	2,605
自己株式	0	0
株主資本合計	3,456	3,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	8
評価・換算差額等合計	9	8
少数株主持分	62	60
純資産合計	3,508	3,442
負債純資産合計	11,585	12,318

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	21,530	18,245
売上原価	16,673	13,141
売上総利益	4,856	5,104
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	618	451
ポイント引当金繰入額	49	52
給料及び手当	1,461	1,457
賞与	187	205
賞与引当金繰入額	75	83
賃借料	737	702
その他	2,000	2,022
販売費及び一般管理費合計	5,128	4,975
営業利益又は営業損失()	272	128
営業外収益		
受取利息	8	9
協賛金収入	63	31
受取補償金	189	-
負ののれん償却額	44	44
その他	35	49
営業外収益合計	340	134
営業外費用		
支払利息	60	56
為替差損	29	15
その他	10	6
営業外費用合計	100	77
経常利益又は経常損失()	31	185
特別利益		
償却債権取立益	-	13
特別利益合計	-	13
特別損失		
固定資産除却損	103	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	22
特別損失合計	103	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	135	169
法人税、住民税及び事業税	31	16
法人税等調整額	87	1
法人税等合計	118	17
少数株主損益調整前四半期純利益	-	151
少数株主利益	13	4
四半期純利益又は四半期純損失()	267	146

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。